

## 石神照雄教授（退職教員）主要業績一覧

### 教育・研究職歴

2006. 4-, 信州大学 全学教育機構 教授  
 1997. 4-, 信州大学 人文学部 教授  
 1995. 4-, 信州大学 人文学部 助教授  
 1983. 4-, 信州大学 教養部 助教授  
 1980. 4-, 信州大学 教養部 講師  
 1979. 4-, 信州大学 教養部 助手  
 1992. 4-, 東京理科大学諏訪短期大学 非常勤講師 (1992. 9まで)  
 1991. 4-, 東京理科大学諏訪短期大学 非常勤講師 (1991. 9まで)  
 1990. 4-, 東京理科大学諏訪短期大学 非常勤講師 (1990. 9まで)  
 1982. 4-, 名古屋大学 医療短期大学部 非常勤講師 (1983. 3まで)  
 1981. 4-, 名古屋大学 医療短期大学部 非常勤講師 (1982. 3まで)  
 1989. 3-, ブラジル連邦共和国 サンパウロ州立大学 日本文化研究所 客員教授 (1990. 2まで)

### 研究業績

#### 著書

- 1 山田文法の現代的意義 齋藤倫明 大木一夫 編 2012 ひつじ書房 共著
- 2 ことばの論文集 安達隆一先生古稀記念論文集 同刊行委員会編 2007 私家版 共著
- 3 日本語学の蓄積と展望 佐藤喜代治博士追悼論集刊行会編 2005 明治書院 共著
- 4 現代日本語の文法研究 国語論究 第10集 佐藤喜代治編 2002 明治書院 共著
- 5 伝統と変容—日本の文芸・言語・思想 日本文芸研究会編 2000 明治書院 共著
- 6 日本語の歴史地理構造 加藤正信編 1997明治書院 共著
- 7 日本文法—体系と方法 川端善明 仁田義雄 編 1997 ひつじ書房 共著
- 8 現代日本語研究 日本語論究3 田島琉堂 丹羽一彌 編 1992和泉書院 共著
- 9 日本語の文法・文体（上）講座 日本語と日本語教育 第4巻 北原保雄編 1989明治書院 共著
- 10 日本語セミナー 現代人とことば 馬瀬良雄 京極興一 宮井捷二 編 1988 銀河書房 共著
- 11 ケーススタディ日本文法 寺村秀夫 鈴木泰 矢澤真人1987 おうふう 共著
- 12 副用語の研究 渡辺実編 1983 明治書院 共著
- 13 ことばの論文集 島田勇雄先生古稀記念 同刊行会編 1981 明治書院 共著

#### 論文

- 1 日本語構文の論理 信州大学人文科学論集, 3 pp.237-250 2016 (Mar.15) 単著

- 2 日本語構文と詞辞 信州大学人文科学論集, 2 pp.309-322 2015 (Mar.15) 単著
- 3 述体構文と分類 信州大学人文科学論集, 1 pp.289-300 2014 (Mar.15) 単著
- 4 述体に於ける名詞文 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 47 pp.175-193 2013 (Mar.15) 単著
- 5 述体文に於ける動詞文と形容詞文 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 46 pp.141-153 2012 (Mar.) 単著
- 6 述体文の種類と助詞 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 45 pp.79-87 2011 (Mar.) 単著
- 7 物語り文と品定め文 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 44 pp.107-116 2010 (Mar.) 単著
- 8 体言文と二重主語 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 43 pp.101-109 2009 (Mar.) 単著
- 9 ことわざの中の助詞モ 信州大学人文社会科学研究, 2 pp.34-44 2008 (Apr. 01) 単著
- 10 体言文とウナギ文 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 42 pp.133-144 2008 (Mar.) 単著
- 11 体言文と主語-述語 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 41 pp.153-162 2007 (Mar. 01) 単著
- 12 文の形式と希望喚体 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 40 pp.137-151 2006 (Mar.) 単著
- 13 喚体の形式と呼格 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 39 pp.111-120 2005 (Mar.) 単著
- 14 文の形式と喚体 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 38 pp.121-131 2004 (Mar.) 単著
- 15 文法と文の形式 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 37 pp.123-135 2003 (Mar.) 単著
- 16 感動喚体の形式-擬喚述法の再検討- 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 36 pp.145-153 2002 単著
- 17 喚体文と擬喚述法 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 35 pp.231-240 2001 単著
- 18 感動喚体に於ける呼格と連体格 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 34 pp.181-191 2000 単著
- 19 文に於ける呼格と述格 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 33 pp.259-271 1999 (Mar.) 単著
- 20 呼格と指示-感動喚体の構造補遺- 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 32 pp.159-165 1998 単著
- 21 感動喚体の構造 信州大学人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 31 pp.275-282 1997 (Mar.) 単著
- 22 一語文と喚体 国語学研究, 34 pp.1-10 1995 (Mar.) 単著

- 23 連体の構造(五)—形式化と準体— 信州大学教養部紀要, 29 pp.1-12 1995 (Mar.) 単著
- 24 連体の構造(四)—形式名詞「の」による転換連体— 信州大学教養部紀要, 28 pp.53-60 1994 (Mar.) 単著
- 25 推量の認識と構文 国語学, 174 pp.28-41 1993 (Sep.) 単著
- 26 連体の構造(三)—補充連体の形式化と区分— 信州大学教養部紀要, 27 pp.1-14 1993 (Mar.) 単著
- 27 連体の構造(二)—格の連体と焦点化— 信州大学教養部紀要, 26 pp.19-32 1992 (Mar.) 単著
- 28 サンパウロの日本語雑誌「時代」—日本語観及び日本語教育観 信州大学教養部紀要, 25 pp.1-16 1991 (Mar.) 単著
- 29 万葉集の助詞ノ—紫の匂へる妹— 解釈, 37(1) pp.16-21 1991 (Jan.) 単著
- 30 古今和歌集の「ともに」について 信州大学教養部紀要, 22 pp.15-25 1988 (Mar.) 単著
- 31 動詞文・形容詞文の構造と文の質 国語学研究, 27 pp.11-24 1987 単著
- 32 万葉集の「とに通ふの」 信州大学教養部紀要, 21 pp.11-22 1987 (Mar.) 単著
- 33 係結と文の質—「は」の構文の場合— 日本語学, 5(2) pp.44-55 1986 (Feb.) 単著
- 34 否定と構文 日本語学, 9(12) pp.57-67 1983 (Dec.) 単著
- 35 文における否定と嘘 日本語学, 2(10) pp.97-105 1983 (Oct.) 単著
- 36 副詞の指導法 長野県ことばの会誌, 2 pp.2-8 1983 (Apr.) 単著
- 37 副詞の捉え方 表現研究, 37 pp.16-22 1983 (Mar.) 単著
- 38 様相副詞「セツカク」と構文構造 信州大学教養部紀要, 16 pp.1-13 1982 (Mar.) 単著
- 39 感動詞について 信州大学教養部紀要, 15 pp.1-11 1981 (Mar.) 単著
- 40 接続詞について 信州大学教養部紀要, 14 pp.1-11 1980 (Mar.) 単著
- 41 比較の構文構造—〈程度性〉の原理— 文芸研究, 93 pp.41-49 1980 (Jan.) 単著
- 42 時の修飾成分 文芸研究, 88 pp.43-52 1978 (Jun.) 単著
- 43 二重主格形容詞文の構造 日本語学試論 愛知教育大学国語学研究室, 3 pp.1-37 1977 (Nov.) 単著
- 44 連用修飾の構造—動詞文における属性の立体的表現— 国語学研究, 16 pp.54-64 1977 単著

#### 学会活動

1977. 4-, 日本文芸研究会会員 現在に至る
1977. 4-, 解釈学会会員 現在に至る
1977. 5-, 日本語学会（国語学会） 現在に至る
1978. 1-, 表現学会会員 現在に至る

**学内業績**

2014. 4-, 信州大学ヒト倫理委員会委員長 (2015. 3まで)

2012. 4-, 信州大学ヒト倫理委員会委員 (2014. 3まで)